東成の“まちの元

③ 今里

若者から高齢者、一緒に生まれ変わらせる「今里ウィンターフェスタ」

イベント概要
開催日 12月6日(日)
場所 今里小学校
問合せ 詳しくは右記をチェックください♪ Blog

若者に単に力仕事を手伝ってもらうのではなく、一緒になって汗を流し、イベントを作り上げたい。

今里ウィンターフェスタ

単に若者に準備を手伝ってもらい、若者だけが汗を流すのでは、せっかく来てくれても離れていってしまう。企画の段階から若者を巻き込んで、一緒に汗を流していきたい。山下さんはそうおっしゃっていました。

毎年12月に開催している「今里ウィンターフェスタ」。今年は大学生をはじめとした若者と一緒になってリニューアルして開催される予定です。

山下さんは、高齢化が進む地域活動の担い手として若い人を呼び込むことに注力されています。また、組織や人の成長、後継者の育成にも焦点を当てており、長い目で地域活動を考えられていました。

記者のひと言 地域との関わりが希薄な大学生にとっても、地域を知る素晴らしい機会だと思います。参加するだけでなく、これを機に運営側にも携わってみたいです。

④ 中道

夏の新定番！みんなで挑む「ウォーターサバイバルゲーム」

イベント概要
開催日 7月26日(日) 10:00～12:00
場所 中道小学校
問合せ 詳しくは右記をチェックください♪ facebook

“昔からやっているから”だけで続けると、いつの間にか誰も喜んでいない行事になってしまうこともある。
変化をおそれず、なるべく多くの人に楽しんでもらいたい想いでやっています。

一昨年まで中道地域では、約1000人が集まる「夏まつり」が開かれていました。けれど準備の負担や暑さを考え、昨年は中止に。それでも「夏の楽しみは残したい」――そんな想いから今年生まれたのが「ウォーターサバイバルゲーム」です。

西村さんは、来た人が「また来たい」と思える企画を次々と形にします。時には一人で企画から運営まで走り切ってしまうこともあり、本人は笑いながら「助っ人募集中です」とも。根っこにあるのは、東成で生まれ育った自分が、このまちに恩返しをしたいという気持ちです。

記者のひと言 常に新しいことを考えるのはスゴイです。「地域の行事って、こんなふうに更新していいんだ」と感じました。

⑤ 北中道

“おせっかい”がやさしくつなぐ、「わがまち文化祭」

イベント概要
北中道ハロウィンパーティ
開催日 11月1日(日)
場所 地域内各所
北中道わがまち文化祭
開催日 11月14日(土)・15日(日)
場所 北中道小学校
問合せ 詳しくは下記をチェックください♪ Blog

昔ながらの“おせっかい”が残っているまちなんですよね。

北中道ハロウィン

北中道地域の合言葉は「人にやさしいまち北中道」。北中道の“おせっかい”は、誰かを置いていかないための合図。わがまち文化祭は、その“らしさ”が詰まったイベントです。「『自分のできること』を持ち寄れるからこそ、世代や国をこえて会話が生まれ、交流の輪が自然に広がっていく」と石塚さんはおっしゃっていました。

他にもとても多くの「場」が用意されています。「ハロウィンパーティ」では、子どもたちが仮装して地域をスタンプラリーで巡り、各ポイントで出迎えるのは地域の高齢者の皆さん。集合後の進行を外国人学校の生徒が担う場面もあるそうです。

記者のひと言 合言葉「人にやさしいまち北中道」のとおり、小さなおせっかいが次の笑顔を呼ぶ「やさしさの連鎖」が、日常に根づいていると感じました。

⑥ 中本

コロナにも負けない「なかもとフェスティバル」

イベント概要
開催日 11月3日(火・祝)
場所 南中本公園、南中本公園集会所
問合せ 詳しくは右記をチェックください♪ Blog

コロナという厳しい状況でもみんなで作り上げた。工夫すればやっていけるのだと自信になった。

なかもとフェスティバル

ふれあい喫茶「なかもっちゃんカフェ」から始まった「なかもとフェスティバル」。

皆さんの記憶にも新しい2020年のコロナ禍には多くの地域行事が中止を余儀なくされました。一方、中本地域では、なかもとフェスティバル中止の声は上がらず、むしろ「コロナでもなんとか開催できる形を目指した」と三枝さんはおっしゃっていました。中止してしまえば、再開する際に大きな勇気と労力が必要となってしまいます。今後のイベント運営を見越して、苦境を耐え抜いたのです。

驚くべきことは、コロナという逆境を逆手に取り、「なかもとフェスティバル」は規模拡大まで果たしたのです。「気張りすぎない」「自然体でいる」「何かを始めるときに大きな反対が出にくく、取り組みやすい土壌がある」そんな中本地域だからこそのイベントなのかもしれません。

記者のひと言 コロナ禍という苦境をむしろチャンスとしてイベントの拡大をされたことに、非常に驚かされました。また、落ち着いた雰囲気の住宅街が広がる中本地域には、「気張りすぎない」という気質とともに、地域の行事に対する熱意を感じました。

※開催日については今年度の予定です。